
名古屋大学大学院生命農学研究科
2015 年度大学の世界展開力強化事業（通称 Campus ASEAN）
日本人学生対象短期（2ヶ月以下）学生派遣プログラム
募集要項

1. 募集目的：

2012 年、名古屋大学は、国際開発研究科、法学研究科・法学部・法政国際教育協力研究センター、経済学研究科・経済学部、生命農学研究科・農学部・農学国際教育協力研究センターが中心となって、文部科学省が支援する「大学の世界展開力強化事業」に「ASEAN 地域発展のための次世代国際協力リーダー養成プログラム」（通称 Campus ASEAN）という構想名で応募し、採択されました。ASEAN 地域と日本をつなぐ経済、法、政治、外交等の諸分野で共通認識をもった次世代の担い手、即ちリーダー育成を目的としています。この目的の下に、名古屋大学と、シンガポール国立大学、チュラロンコン大学(タイ)、フィリピン大学ロスバニョス校、ガジャ・マダ大学(インドネシア)、王立法経大学(カンボジア)、ハノイ法科大学、ホーチミン市法科大学の7大学とがコンソーシアムを形成し、学生の交換を通じて、共同教育の基礎を作り、相互理解を深めていきます。

そのプログラムの一環として、今回は、日本人学生を対象として「単位認定を伴う2ヶ月未満の派遣事業」への参加学生を募集します。2015 年度中に行われる、生命農学研究科が主にカウンター・パートとしている、フィリピン大学ロスバニョス校への短期滞在が対象です。独自の研究を通して、国際協力リーダーを目指す動機づけを行い、同時に、将来の国際協力リーダーに必要な、異文化理解活用力の向上を図ることが目的です。具体的には、

- (1) 農学分野の大学院生に対し独自で農学に関連した各課題を理解する機会を提供し、研究の実施および課題分析をトレーニングすること。
- (2) 研究課題について、学生自らが問題解決を図るために必要な能力を養成すること。
- (3) 農学で広く使われている英語を用いて研究を行う機会を与えること。
- (4) 受入機関で異なる文化的背景を持つ人々の間でのコミュニケーション能力を向上させること。

2. 応募資格及び条件：

- (1) 名古屋大学大学院生命農学研究科に在籍する学生（休学中を除く）。前期課程・後期課程を問わない。なお、指導教員の許可を必要とします。
- (2) 本プログラムの趣旨や目的を充分理解し、それに沿った活動ができる者（英語能力を含む）。
- (3) 積極的/主体的/自律的な者。
- (4) 派遣対象国の生活に適応できる者。

3. **募集人員：** 2名以内

(1) フィリピン大学ロスバニョス校 (フィリピン・ラグナ) <http://www.uplb.edu.ph/>

※ 上記大学以外への派遣を希望する学生は農学部・生命農学研究科教務学生係へご相談ください。

※ 但し、派遣可能国はタイ、カンボジア、ベトナム、インドネシア、フィリピンのみです。

4. **活動内容：**

(1) 修士論文、博士論文の現地調査

(2) 派遣国受入教員による研究指導

(3) 派遣国受入機関でのセミナーへの参加 (研究発表など)

5. **派遣時期：**

2015年9月1日~2016年3月15日の間の2ヶ月未満の期間

6. **助成内容：**

(1) 当プログラム参加者は JASSO (独立行政法人 日本学生支援機構) の留学生交流支援制度の奨学金 (月額 70,000 円) へ申請が可能です。

(2) 派遣先までのエコノミークラスの片道もしくは往復航空券を現物で支給します。

(3) 宿泊費を含むその他の費用は支給されません (奨学金の申請が可能。「11」を参照。)

7. **応募方法**

応募者は出願期限までに応募書類を提出してください。

提出書類

(1) 様式1：2015年度 Campus ASEAN 学生短期派遣プログラム申請書

(2) 様式2：研究計画書

提出期限

2015年7月8日(水) 17:00 必着

提出先

農学部・生命農学研究科教務学生係

8. **審査体制と審査基準**

生命農学研究科国際交流委員会ならびに Campus ASEAN 運営委員会が審査を行い、採否を決定します。審査は、研究計画の実現可能性、英語力などを総合的に評価し行います。必要な場合、面接を行います。

9. **結果の通知**

決定後、直ちに応募者本人および指導教員に通知します。

10. 修了認定

JASSO からの奨学金申請のために、派遣先大学からの修了証明が必要です。そのためには、下記の2点からいずれかを必ず選択し、派遣先大学からの修了証明を発行依頼してください。

- 1) 派遣先大学の既存のプログラムに参加する。
- 2) 応募者本人が研究・研修プログラムを作成し、派遣先大学から事前に承認を得ること。また、プログラムの内容は事前に JASSO に送付し、承認を得る必要がありますので注意してください。

11. 奨学金の申請

当プログラム参加者は JASSO (独立行政法人 日本学生支援機構) の留学生交流支援制度の奨学金 (月額 70,000 円) へ申請が可能です。申請要件は以下の通りです。

- (1) 設定された以下の成績水準を満たすこと。

学業成績が優秀で人物などに優れており、かつ、次に定める方法で求められる、在籍大学等における選考時の前年度の成績評価係数が3.0点満点で原則として2.30以上であること(2.00以上2.30未満でも応募できる場合がある)。前年度の成績がない場合は、選考時の前学期分の成績から算出するものとする。なお、成績評価係数で表すことができない場合は、別に定める様式に、特に成績が優秀であり、成績評価係数2.30相当以上であるとする理由を明記すること。

	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価 (パターン1)	A	B	C	F	
4段階評価 (パターン2)	100~80	79~70	69~60	59以下	
4段階評価 (パターン3)	100~90	89~80	79~70	69~60	59以下
5段階評価 (パターン4)	S	A	B	C	F
5段階評価 (パターン5)	A	B	C	D	F
5段階評価 (パターン6)	3	3	2	1	0
成績評価ポイント					

計算式: (「評価ポイント3の単位数」×3) + (「評価ポイント2の単位数」×2) + (「評価ポイント1の単位数」×1) + (「評価ポイント0の単位数」×0) ÷ 総登録単位数

- (2) 帰国後にフォローアップのための追跡調査 (アンケート) に協力すること。
- (3) 経済的理由により、自費のみでの参加が困難であること。

原則として以下の家計収入基準の目安以下に合致するもの。

家計収入 (本人及び配偶者の収入) 基準の目安

大学院 (修士課程)	486 万円以下
大学院 (博士課程)	553 万円以下

- (4) 派遣に必要な査証を確実に取得すること。
- (5) 所定の報告書を作成し、提出すること。
 - ※ JASSO (独立行政法人 日本学生支援機構) が実施する第一種奨学金及び第二種奨学金との併給は認められる予定です。該当する場合はあらかじめ知らせること。
 - ※ 他団体などから奨学金を受けている学生は、当奨学金との併用が認められない奨学金もあるので、確認すること。

12. 報告書の提出

留学報告書およびアンケートを帰国後 2 週間以内に農学部・生命農学研究科教務学生係に提出してください。

13. 助成の取り消し等

受給者において、次の各号のいずれかに該当する事実があった場合、助成決定を取消し、又は支給した助成金の返還を求めます。

- (1) 事前に予定した留学期間に満たなかった場合（その満たなかった期間について支給済みの助成金の返還）
- (2) 応募書類に虚偽の記載があった場合
- (3) 海外渡航の前に本学大学院の学籍を失った場合
- (4) 留学終了後、本学における学習が継続しなかった場合
- (5) 留学等報告書の提出を怠り、督促を受けてもなお提出しない場合

14. 問合せ先

農学部・生命農学研究科教務学生係（担当：大須賀）

TEL：052-789-4967

E-mail：kyomu@agr.nagoya-u.ac.jp

Campus ASEAN ホームページ：<http://www2.gsid.nagoya-u.ac.jp/blog/campusasean/>

※ 応募に必要な様式はすべてホームページからダウンロードできます。